

**IBM Cognos TM1**  
バージョン 10.2.2

# **インストール・ガイド (ご利用 の手引き)**

**IBM**

**注記**

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、15 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Cognos TM1 バージョン 10.2.2 に適用され、以降のリリースにも適用される場合があります。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

**原典：** IBM Cognos TM1  
Version 10.2.2  
Getting Started Installation Guide

**発行：** 日本アイ・ビー・エム株式会社

**担当：** トランスレーション・サービス・センター

Licensed Materials - Property of IBM

© Copyright IBM Corporation 2010, 2014.

---

# 目次

はじめに . . . . .	v
<b>第 1 章 1 台のコンピューターへの Cognos TM1 インストール . . . . .</b>	<b>1</b>
前提ソフトウェアのインストール . . . . .	2
基本 Cognos TM1 コンポーネントのインストール . . . . .	2
Cognos Configuration による Cognos TM1 コンポーネントの開始 . . . . .	3
Cognos TM1 Perspectives の実行 . . . . .	5
Cognos TM1 Architect の実行 . . . . .	5
Cognos TM1 Web の実行 . . . . .	6
Cognos TM1 Applications ポータルの実行 . . . . .	6
Cognos Insight の実行 . . . . .	7
Cognos TM1 Performance Modeler の実行 . . . . .	8
Cognos TM1 Application Web の使用 . . . . .	8
<b>第 2 章 その他の Cognos TM1 コンポーネントおよび統合オプション . . . . .</b>	<b>11</b>
<b>付録. ユーザー補助機能 . . . . .</b>	<b>13</b>
インストール・ウィザードのキーボード・ショートカット . . . . .	13
Cognos Configuration のキーボード・ショートカット . . . . .	14
<b>特記事項 . . . . .</b>	<b>15</b>
<b>索引 . . . . .</b>	<b>19</b>



---

## はじめに

この資料は、IBM® Cognos® TM1® を使用する際に参照してください。

Microsoft Windows オペレーティング・システムを使用する 1 台のコンピュータ上に基本インストールを行う際に必要な情報が取り上げられています。

### 対象読者

このガイドを使用するには、次の項目を理解している必要があります。

- 基本的なデータベース概念
- Windows オペレーティング・システムの基本的管理操作
- Web サーバー設定

### 情報の検索

資料は、各国語版の資料も含め、Web 上にある IBM Knowledge Center (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter>) で入手できます。

### ユーザー補助機能

ユーザー補助機能は、動作が制限されている方、視力の限られた方など、身体に障害を持つ方々に IT 製品をご使用いただけるように支援する機能です。この製品は、ユーザー補助機能を備えています。これらの機能について詳しくは、13 ページの『ユーザー補助機能』を参照してください。

### サンプルに関する特記事項

Sample Outdoors 社、Great Outdoors 社、GO 営業、Sample Outdoors 名または Great Outdoors 名の変形、および Planning サンプルは、IBM および IBM 顧客のサンプル・アプリケーションを開発するために使用されたサンプル・データの架空の企業運営を表しています。これらの架空データには、販売取引、商品流通、財務、および人事のサンプル・データが含まれます。実在する名称、住所、連絡先電話番号、取引額とは一切関係がありません。また、サンプル・ファイルの中には、手動またはコンピューターで生成された架空のデータ、学術的ソースまたは公共のソースを基に編集された実際のデータ、著作権所有者の許可を得て使われているデータなどが、サンプル・アプリケーションを開発するためのサンプル・データとして使用されている場合もあります。参照される製品名は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。許可なく複製することは禁止されています。

### 将来予想に関する記述

このドキュメントには製品の現在の機能が記載されています。現在利用できない項目への言及が含まれる場合もありますが、将来的に使用可能になることを示唆するものではありません。このような言及は、なんらかの資料、規約、または機能を提供するという誓約、保証、または法的義務ではありません。機能の開発、リリース、時期や機能性は IBM の独自の決定によるものとします。



---

## 第 1 章 1 台のコンピューターへの Cognos TM1 インストール

このタイプのインストールによって、IBM Cognos TM1 が、Microsoft Windows オペレーティング・システムを実行している 1 台のコンピューターにデフォルトの設定を使用してインストールされます。Cognos TM1 を迅速に稼働する場合や、テスト環境または評価環境をインストールする場合に、この種のインストールを使用します。

Cognos TM1 のすべての機能およびオプション・コンポーネントをインストールして設定する場合には、Cognos TM1 ウェルカム・ページ (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT/welcome>) にある総合的なインストール・ガイドを参照してください。使用中の TM1 のバージョンを選択し、その後「インストール」>「TM1 インストールおよび設定ガイド」を選択します。

1 台のコンピューターのインストールでは、以下のコンポーネントのインストールと実行の方法が説明されています。

- Cognos TM1 管理サーバー
- Cognos TM1 サーバー
- Cognos TM1 Perspectives
- Cognos TM1 Architect
- Cognos TM1 Web
- Cognos TM1 アプリケーション・サーバー
- Cognos TM1 アプリケーション Web
- Cognos Insight
- Cognos TM1 Performance Modeler

取り上げるインストール・シナリオの想定は、以下のとおりです。

- Microsoft Windows オペレーティング・システムを実行している 32 ビットまたは 64 ビットの 1 台のコンピューターを使用しています。
- 使用している Apache Tomcat Web サーバー・ソフトウェアは、Cognos TM1 インストール時にインストールされたバージョンです。
- デフォルトの標準 Cognos TM1 認証を使用します。
- デフォルトの設定 (言語は英語) を受け入れています。

64 ビット・システムでは、Cognos TM1 コンポーネントのすべてが必ずしも使用可能になるわけではありません。64 ビットのインストールで使用可能なコンポーネントは、デフォルトの 32 ビットのインストール・ディレクトリーの場所ではなく、64 ビットの場所のディレクトリーにインストールされます。例えば、bin ではなく bin64 などです。

**要確認:** この資料で取り上げる手順で使用されているブラウザは、ご使用のブラウザのインターフェースとは若干異なる場合があります。

---

## 前提ソフトウェアのインストール

IBM Cognos TM1 をインストールするには、前提ソフトウェアが必要です。

### このタスクについて

これらの前提条件ソフトウェアが配置されていない場合、それらに関するメッセージが Cognos TM1 インストール・ウィザードで表示されます。いずれかの前提条件が欠落している場合は、次に進む前に、それをインストールする必要があります。対象のソフトウェアが既にインストールされている場合もあります。

### 手順

Cognos TM1 Perspectives または Cognos TM1 Architect 用に、以下のものをインストールするか、インストールされていることを確認してください。

- Microsoft .NET Framework
- Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージ
- Microsoft Excel

オペレーティング・システム、パッチ、Web サーバー、Web ブラウザーの情報など、Cognos TM1 でサポートされる環境の最新リストを確認するには、Cognos TM1 10.2.2 ソフトウェア環境 (<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27040698>) を参照してください。

---

## 基本 Cognos TM1 コンポーネントのインストール

インストール・プログラムを使用して、インストールするコンポーネントと、それをインストールするコンピューター上の場所を選択します。

### 始める前に

- ソフトウェアをインストールするコンピューターの管理者権限を持っていることを確認します。
- 一時ファイルを保管するディレクトリーを指す TEMP システム変数が、コンピューターに設定されていることを確かめます。インストール時に、このディレクトリーに一時的にファイルがコピーされます。
- 一部の Microsoft Windows Web サーバー・ソフトウェアでは、ディレクトリー名に非 ASCII 文字は使用できません。IBM Cognos TM1 コンポーネントをインストールするディレクトリーのパス名に ASCII 文字しか含まれていないことを確認してください。
- すべての前提ソフトウェアがインストールされていることを確かめます。
- 使用できるインストール・プログラムがいくつかあります。使用しているオペレーティング・システムに応じて、インストールするプログラムが保管されているディレクトリーに移動します。
  - TM1 (32 ビット Windows)
  - TM1 (64 ビット Windows)

### 手順

1. インストールを開始するには、次のようにします。



- 使用する Cognos TM1 インストール・プログラムのダウンロード場所に移動します。
- または、IBM Cognos TM1 製品ディスクを挿入します。

インストール・ウィザードが自動的に開かない場合は、オペレーティング・システムのディレクトリーに移動して、`issetup.exe` コマンドを見つけてください。

2. オペレーティング・システム・ソフトウェアに応じて、`issetup.exe` ファイルを右クリックまたはダブルクリックします。
  - Microsoft Windows Vista、Windows 7、または Windows Server 2008 オペレーティング・システム・ソフトウェアでは、`issetup.exe` ファイルを右クリックし、「**管理者として実行**」をクリックします。
  - 他のすべての Windows オペレーティング・システム・ソフトウェアでは、`issetup.exe` をダブルクリックします。
3. インストール・ウィザードの指示に従って、すべてのコンポーネントを選択します。

ソフトウェアを実行するために必要なコンポーネントは、デフォルトで選択されています。

Cognos Insight または Cognos TM1 Performance Modeler をインストールしない場合、ステップ 5 にスキップします。

4. Cognos Insight をインストールに含めるには、「**TM1 クライアント層**」を展開して、「**Cognos Insight**」を選択します。
5. Cognos TM1 Performance Modeler をインストールに含めるには、「**TM1 開発者層**」を展開して、「**TM1 Performance Modeler**」を選択します。
6. インストールが開始されるまで、「**次へ**」をクリックします。

すべてのコンポーネントがインストールされるまで、インストールが実行されません。これには、かなりの時間が必要となる場合があります。

**ヒント:** 以前の Windows オペレーティング・システムの場合、インストールの最後の画面で「**Cognos Configuration の開始 (Start Cognos Configuration)**」にチェック・マークを付けると、設定ツールをすぐに実行できます。Microsoft Windows Vista、Windows 7、または Windows Server 2008 オペレーティング・システム・ソフトウェアの場合、このボックスにチェック・マークを付けず、代わりに「**スタート**」メニューを使用して、Cognos Configuration ツールを起動する際に「**管理者として実行**」を選択できるようにします。

7. 「**終了**」をクリックします。

---

## Cognos Configuration による Cognos TM1 コンポーネントの開始

Cognos TM1 を使用する前に、IBM Cognos TM1 管理サーバー、TM1 Application Server、および少なくとも 1 つの IBM Cognos TM1 サンプル・データベース・サーバーを開始する必要があります。この操作により、サーバーが Windows サービス・レジストリーに登録されます。それから、これらのサービスを特定のユーザーで実行するように設定することが必要です。Microsoft Windows 環境で実行されるサーバーは、「サービス」と呼ばれます。

## 手順

1. 設定ツールをまだ実行していない場合には、「スタート」 > 「すべてのプログラム」 > 「IBM Cognos TM1」 > 「IBM Cognos Configuration」をクリックして設定ツールを開始します。

**要確認:** Windows Vista、Windows 7、および Windows Server 2008 オペレーティング・システム・ソフトウェアでは、右クリックして「管理者として実行」を使用します。

2. Cognos Configuration の「エクスプローラー」ウィンドウで、「ローカル設定」 > 「環境」と展開します。
3. 以下に示す開始するコンポーネントごとに右クリックして、「開始」を選択します。
  - a. **TM1 管理サーバー** TM1 管理サーバーはどのサンプル・データベースよりも前に実行している必要があるため、これを最初に開始します。

Cognos Configuration ツールが、構成設定に対して行った編集を保存するようにプロンプトを出します。このプロセスは、設定を暗号設定として最初に保存し、他のアクションが最初に行われるときは、長くかかります。設定を保存するようにというメッセージに対して、「はい」をクリックします。この種類のメッセージは、Cognos Configuration を閉じるときにも表示されます。

- b. **TM1 アプリケーション・サーバー**
4. 「データ・アクセス」 > 「TM1 サーバー」ノードを展開し、開始するそれぞれの Cognos TM1 サンプル・データベース・サーバーを右クリックしてから「開始」を選択します。例えば、提供されている以下のサンプル・データベースを開始します。
    - a. **SData**
    - b. **計画のサンプル**
    - c. **GO\_New\_Stores**
  5. 「ファイル」 > 「保存」とクリックします。
  6. これで、サービスはすべて Windows サービス・レジストリーに登録されたので、特定のユーザー・アカウントを使用するようにサービスを設定し直すことができます。
    - a. Cognos Configuration で、変更する各サービスを右クリックし、「停止」を選択します。
    - b. Windows の「サービス」を開きます。
    - c. 各サービスを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
    - d. システムで有効で、サービスに適切な権限があるユーザー名とパスワードを入力します。このユーザー・アカウントに必要な権限については、「IBM Cognos TM1 インストールおよび設定ガイド」の Cognos TM1 インストールの計画に関する章で、Windows で Cognos TM1 サービスを実行するためのユーザー・アカウントについての説明を参照してください。

使用中の TM1 のバージョンの TM1 インストール・ガイドは、Cognos TM1 ウェルカム・ページ (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT/welcome>) で入手できます。

- e. Windows の「サービス」を閉じます。
7. Cognos Configuration で、各サービスを右クリックし、「開始」を選択します。
8. Cognos Configuration を閉じます。

---

## Cognos TM1 Perspectives の実行

インストール後、IBM Cognos TM1 Perspectives を実行できます。

### 手順

1. Windows の「スタート」メニューから、「**IBM Cognos TM1**」 > 「**Perspectives**」をクリックします。このコンポーネントが開始されない場合、Cognos Configuration で始動したサーバーが依然として実行中であることを確認してください。
2. セキュリティ警告が表示される場合、「**マクロを有効にする**」をクリックします。
3. 「**TM1**」 > 「**サーバー・エクスプローラー**」とクリックしてから、「**TM1**」を展開して、使用可能なサーバーを表示します。
4. Cognos TM1 サーバーをダブルクリックして、ログオンします。

SData、Planning サンプル、または GO\_New\_Stores の場合、以下のログイン資格情報を使用します。

- ユーザー名: admin
- パスワード: apple

**ヒント:** Microsoft Excel を開始する場合に必ず Cognos TM1 Perspectives を自動的にロードするには、*TM1\_location/Tm1p.xla* を Microsoft Excel のアドイン・ツール・リストに追加します。*TM1\_location* は、Cognos TM1 がインストールされているファイル・ディレクトリーです。この手順を完了すると、「**TM1**」が Microsoft Excel のメニュー・バーに表示されます。

---

## Cognos TM1 Architect の実行

インストール後、IBM Cognos TM1 Architect という Microsoft Excel バージョンではない IBM Cognos TM1 を実行できます。

### 手順

1. Windows の「スタート」から、「**すべてのプログラム**」 > 「**IBM Cognos TM1**」 > 「**Architect**」とクリックします。Cognos TM1 Architect が開始されない場合、Cognos Configuration で始動したサーバーが依然として実行中であることを確認してください。
2. 「**TM1**」を展開して、使用可能なサーバーを表示します。
3. Cognos TM1 サーバーをダブルクリックして、ログオンします。
4. SData、Planning サンプル、または GO\_New\_Stores サンプル・データベースにログオンするには、以下の資格情報を使用します。
  - ユーザー名: admin
  - パスワード: apple

---

## Cognos TM1 Web の実行

IBM Cognos TM1 をインストールすると、提供されているバージョンの Apache Tomcat Web アプリケーション・サーバーと共に稼働するよう IBM Cognos TM1 Web が設定されます。

### 手順

1. Web ブラウザーで URL `http://localhost:9510/tm1web/` を入力します

「localhost」という語は、デフォルトのコンピューターの場所として現在使用しているコンピューターを指す場合に用いることができます。または、Cognos TM1 がインストールされているコンピューターの IP アドレスまたは名前を明示的に入力することもできます。

2. 他のどのコンポーネントを起動したかに応じて、通常「ログオン」ボックスの値は自動的に入力されます。入力されない場合、自分で入力するか、必要に応じて値を変更できます。
3. 「ログオン」をクリックします。

---

## Cognos TM1 Applications ポータルの実行

IBM Cognos TM1 Applications は、IBM Cognos TM1 データを使用して構築されたプランニング・アプリケーションを実行するための、Web ベースのクライアントおよびポータルです。

### このタスクについて

Cognos TM1 Applications は、IBM Cognos TM1 Performance Modeler を起動するためにも使用できますし、IBM Cognos Insight を起動するためにも使用できます。

### 手順

1. Web ブラウザーで、URL `http://localhost:9510/pmpsvc` を入力します。9510 は、Cognos TM1 アプリケーション・サーバーで使用される通常のポートです。インストール時に別のポートを使用した場合には、その値をここに入力してください。
2. Cognos TM1 アプリケーション・サーバーで使用する管理ホスト、サーバー、クライアントのタイプ、URL を指定するには、すべての設定をデフォルトのまま受け入れます。
3. 「OK」をクリックします。
4. サンプル・データベース・サーバーの「ユーザー名」と「パスワード」に「admin」と「apple」を入力します。
5. `tm1s.cfg` ファイル内の以下のパラメーターの編集に関するメッセージをそのまま閉じて、インストールを完了します。

- `AllowSeparateNandCRules`
- `ForceReevaluationOfFeedersForFedCellsOnDataChange`
- `DistributedPlanningOutputDir`

クライアントの操作を開始する時点まで、これらのパラメーターを編集する必要はありません。

ポータルは、Cognos TM1 Performance Modeler を使用してアプリケーションを構築したり、既存のアプリケーションをインポートしたりするまでは空のままになります。


---

## Cognos Insight の実行

IBM Cognos Insight は、IBM Cognos TM1 インストールの選択されていないコンポーネントとして使用可能です。Cognos Insight は、アプリケーションに参加するクライアントとして使用したり、役立つ対話的なユーザー・エクスペリエンスを作り出すための動的なワークスペース・ビルダーとして使用したりできます。

### 手順

1. Cognos Insight を実行するには、次のいずれかの操作を実行します。

- Cognos TM1 Applications ポータルから、Cognos Insight アイコン  をクリックします。  
  
または、次のようにもできます。
- Cognos Insight を使用するように設定されたアプリケーションのノードを右クリックします。
- インストールされる Cognos Insight デスクトップ・アイコンをクリックすることもできます。
- Microsoft Windows の「スタート」メニューを使用します。「スタート」 > 「すべてのプログラム」 > 「IBM Cognos Insight」 > 「IBM Cognos Insight」をクリックします。
- また、Cognos Insight を独立型コンポーネントとしてインストールすることもできます。

**要確認:** ブラウザーによっては、Cognos Insight などのダウンロード済みコンポーネントのインストール方法として、少し異なる手順が示される場合があります。

2. provagent.cogrnp\_insight ダイアログ・ボックスで「**IBM Cognos RCP Application Updater で開く (Open With IBM Cognos RCP Application Updater)**」を選択して「**OK**」をクリックします。
3. 実行可能ファイルに関する警告が表示される場合、「**OK**」をクリックしてインストールを続行します。

### 次のタスク

Cognos Insight ワークスペースを作成する方法、およびアプリケーションに参加するクライアントとして Cognos Insight を使用する方法については、Cognos Insight Knowledge Center (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSVJ22/welcome>) を参照してください。

---


## Cognos TM1 Performance Modeler の実行

IBM Cognos TM1 Performance Modeler は、IBM Cognos TM1 インストールの選択されていないコンポーネントとして使用可能です。Cognos TM1 Performance Modeler は、IBM Cognos TM1 Applications ポータルから起動します。

### このタスクについて

Cognos TM1 Performance Modeler がインストールされた後、インストール済みのデスクトップ・アイコンから、または Microsoft Windows の「スタート」メニューからプログラムを開始することもできます。「スタート」 > 「すべてのプログラム」 > 「IBM Cognos TM1 Performance Modeler」 > 「IBM Cognos TM1 Performance Modeler」をクリックします。

### 手順

1. Cognos TM1 Applications ポータルで、「**Performance Modeler を開く**」 アイコンをクリックします。

**要確認:** ブラウザーによって、Cognos TM1 Performance Modeler のようなダウンロードされるコンポーネントをインストールするために使用する手順が少し異なる場合があります。

2. provagent.cogrcp\_modeler ダイアログ・ボックスで「**IBM Cognos RCP Application Updater で開く (Open with IBM Cognos RCP Application Updater)**」を選択して「**OK**」をクリックします。
3. 「**OK**」をクリックし、設定メッセージを閉じると、インストールが完了します。

これらのパラメーターは、クライアントを扱うまでは編集する必要がありません。

4. 「**モデル設計**」タブをクリックして、GO\_New\_Stores データ・キューブと構造を表示します。
5. 「**アプリケーション設計**」タブをクリックして、GO\_New\_Stores を使用して新しいアプリケーションを構築します。

Cognos TM1 ウェルカム・ページ (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT/welcome>) を参照してください。使用中の TM1 のバージョンを選択し、その後「**モデルおよび設計**」カテゴリーを選択します。「*IBM Cognos TM1 Performance Modeler ユーザー・ガイド*」は、モデルの構築について詳しく説明しています。

---

## Cognos TM1 Application Web の使用

IBM Cognos TM1 Application Web は、プランニング・アプリケーションに参加したり、IBM Cognos TM1 Websheets を扱ったりするための Web ベースのクライアントです。

## 始める前に

Cognos TM1 Application Web クライアントを使用するには、プランニング・アプリケーションが必要です。アプリケーション設計者は、特定のアプリケーションと一緒に使用できるクライアントを指定します。

**ヒント:** 設計者がアプリケーションで使用可能にしたクライアントを確認するには、IBM Cognos TM1 Applications のポータルにアプリケーション・ノードが表示される際にそれを右クリックします。

## 手順

1. Cognos TM1 Applications のポータルで、プランニング・アプリケーションのノードを右クリックします。
2. 「**TM1 Application Web を開く**」を選択して、Cognos TM1 Application Web クライアントを起動します。

Cognos TM1 Application Web クライアントを使用してアプリケーションに参加する方法の詳細については、「*IBM Cognos TM1 Web ユーザー・ガイド*」を参照してください。Cognos TM1 ウェルカム・ページ (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT/welcome>) へ移動し、使用中の TM1 のバージョンを選択し、「**分析および作成**」カテゴリーを選択し、最後に「*TM1 Applications ガイド*」を参照します。





---

## 第 2 章 その他の Cognos TM1 コンポーネントおよび統合オプション

IBM Cognos TM1 インストールによって他の多くのコンポーネントが使用できるようになります。このインストールをカスタマイズする方法は他にも多数あります。

Cognos TM1 をインストールして設定するその他の方法について詳しくは、以下のガイドを参照してください。

TM1 のすべての資料については、Cognos TM1 ウェルカム・ページ (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT/welcome>) を参照してください。使用中の TM1 のバージョンを選択し、その後カテゴリおよび必要とするマニュアルを選択します。

### その他の Cognos TM1 コンポーネント

その他のコンポーネントや、Cognos TM1 の他のインストール方法について詳しくは、総合的資料である「*IBM Cognos TM1* インストールおよび設定ガイド」を参照してください。

#### IBM Cognos TM1 Operations Console

IBM Cognos TM1 Operation Console は、ネットワーク上にある TM1 サーバーのアクティビティをモニターするために管理者が使用するツールです。詳しくは、「*IBM Cognos TM1 Operation Console* ガイド」を参照してください。

#### IBM Cognos TM1 Mobile Contributor

IBM Cognos TM1 Mobile Contributor は IBM Cognos TM1 サーバーに接続する Apple iPad 用の新しいモバイル・アプリケーションです。これを使用すると、モバイル・ユーザーは IBM Cognos TM1 Applications から自分のすべてのプランニング・アプリケーションにアクセスできます。

#### IBM Cognos TM1 Scorecarding

IBM Cognos TM1 Scorecarding は、スコアカードと戦略管理の機能を Cognos TM1 に統合し、パフォーマンス管理と計画との統合を改善します。重要業績評価指標 (KPI) をモニターする対話式影響ダイアグラム、戦略マップ、およびカスタム・ダイアグラムを含むスコアカード・ソリューションを作成することができます。詳しくは、「*IBM Cognos TM1 Performance Modeler* ユーザー・ガイド」を参照してください。

### Cognos TM1 と他の IBM Cognos ソフトウェアとの統合

以下のように Cognos TM1 を他の IBM Cognos ソフトウェアと統合する方法について、詳しくは総合的資料である「*IBM Cognos TM1* インストールおよび設定ガイド」の中の Cognos TM1 と他の IBM Cognos ソフトウェアとの統合に関する章を参照してください。

#### IBM Cognos Business Intelligence セキュリティー

IBM Cognos Business Intelligence (BI) セキュリティーを使ってユーザーを認証するよう Cognos TM1 サーバーを設定することができます。

#### **IBM Cognos BI レポート作成**

Cognos Report Authoring および Cognos Query Studio などの Cognos BI アプリケーションから Cognos TM1 サーバーとキューブにアクセスするよう、IBM Cognos Business Intelligence (BI) を設定できます。

#### **IBM Cognos Workspace での iWidget**

キューブ・ビュー、グラフ、Web シートなどの IBM Cognos TM1 Web データ・オブジェクトを IBM Cognos Workspace での iWidget として表示できます。詳細については、「*IBM Cognos TM1 インストールおよび設定ガイド*」を参照してください。

#### **IBM Cognos Analysis for Microsoft Excel**

IBM Cognos Analysis for Microsoft Excel を IBM Cognos TM1 データ・ソースと共に使用することにより、TM1 キューブに値を入力したり書き戻したりします。

#### **IBM Cognos TM1 Package Connector**

IBM Cognos TM1 Package Connector は、IBM Cognos Framework Manager のパッケージをインポートするために使用します。詳しくは、「*IBM Cognos TM1 TurboIntegrator ガイド*」を参照してください。

---

## 付録. ユーザー補助機能

ユーザー補助機能は、動作が制限されている方、視力の限られた方など、身体に障害を持つ方々に IT 製品をご使用いただけるように支援する機能です。

ユーザー補助機能に対する IBM の取り組みの詳細については、IBM アクセシビリティ・センターを参照してください。

IBM アクセシビリティ・センターは、オンラインで利用できます (<http://www.ibm.com/able>)。

---

### インストール・ウィザードのキーボード・ショートカット

ショートカット・キーを使用すると、簡単に素早くソフトウェアにナビゲートして使用できます。

インストール・ウィザードでは、アプリケーション固有のキーに加えて、標準の Microsoft Windows オペレーティング・システム・ナビゲーション・キーを採用しています。

注: 次のショートカット・キーは、米国の標準的なキーボードに基づいています。

次の表に、Windows オペレーティング・システム上でインストール・ウィザードの主な作業の一部を実行する際に使用できるショートカット・キーを示します。

操作	ショートカット・キー
ページの次のフィールドに移動する	Tab
ページの前のフィールドに戻る	Shift + Tab
インストール・ウィザードを終了する	Alt+F4
次の設定手順に移動する	Alt + N
前の設定手順に戻る	Alt + B
リストの次の選択肢に移動する	↓
リストの前の選択肢に移動する	↑

次の表に、UNIX または Linux オペレーティング・システム上でインストール・ウィザードの主な作業の一部を実行する際に使用できるショートカット・キーを示します。

操作	ショートカット・キー
ページの次のフィールドに移動する	Tab
ページの前のフィールドに戻る	Shift + Tab
インストール・ウィザードを終了する	Alt+F4
リストの次の選択肢に移動する	↓
リストの前の選択肢に移動する	↑

次の表に、インストール・ウィザードの「使用許諾契約」ページで主な作業の一部を実行する際に使用できるショートカット・キーを示します。

操作	ショートカット・キー
使用許諾契約に同意する	Alt+A
使用許諾契約に同意しない	Alt + D
インストール・ウィザードを終了する	Alt + x

## Cognos Configuration のキーボード・ショートカット

ショートカット・キーを使用すると、簡単に素早くソフトウェアにナビゲートして使用できます。

次のショートカット・キーは、米国の標準的なキーボードに基づいています。

次の表に、Windows オペレーティング・システム上で IBM Cognos Configuration の主な作業の一部を実行する際に使用可能なキーボード・ショートカットを示します。

操作	ショートカット・キー
現行の設定を保存する	Ctrl+S
Cognos Configuration を閉じる	Alt+F4
選択した項目の名前を変更する	F2
「ファイル」メニューを表示する	Alt+F
「編集」メニューを表示する	Alt+E
「表示」メニューを表示する	Alt+V
「操作」メニューを表示する	Alt+A
「ヘルプ」メニューを表示する	Alt+H

次の表に、UNIX または Linux オペレーティング・システム上で Cognos Configuration の主な作業の一部を実行する際に使用可能なキーボード・ショートカットを示します。

操作	ショートカット・キー
現行の設定を保存する	Tab
Cognos Configuration を閉じる	Shift + Tab
選択した項目の名前を変更する	Alt+F4

---

## 特記事項

本書は IBM が世界各国で提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。本書には、お客様が購入されたプログラムまたはライセンス資格に含まれない製品、サービス、または機能に関する説明が含まれる場合があります。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
法務・知的財産  
知的財産権ライセンス渉外

For license inquiries regarding double-byte (DBCS) information, contact the IBM Intellectual Property Department in your country or send inquiries, in writing, to:

Intellectual Property Licensing  
Legal and Intellectual Property Law  
IBM Japan Ltd.  
19-21, Nihonbashi-Hakozakicho, Chuo-ku  
Tokyo 103-8510, Japan

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Software Group  
Attention: Licensing  
3755 Riverside Dr.  
Ottawa, ON K1V 1B7  
Canada

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

この「ソフトウェア・オファリング」は、Cookie もしくはその他のテクノロジーを使用して個人情報を収集することはありません。

---

## 商標

IBM、IBM ロゴ、および [ibm.com](http://ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、[www.ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml) の「Copyright and trademark information」をご覧ください。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

- Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。
- UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft 製品のスクリーン・ショットは、Microsoft の許可を得て使用していません。





---

## 索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

### [ア行]

インストール・シナリオ 1

### [カ行]

開始する

サービス 4

管理者権限 2

管理者として実行 2

キーボードのショートカット 13

Cognos Configuration 14

計画のサンプル

開始する 4

コンポーネント 1

### [サ行]

ショートカット・キー 13

IBM Cognos Configuration 14

設定 4

前提ソフトウェア 2

### [タ行]

ディレクトリー名の ASCII 文字 2

### [マ行]

マクロを有効にする 5

### [ヤ行]

ユーザー補助機能 13

### [ラ行]

ログオン資格情報 5

## A

AllowSeparateNandCRules 6

## C

Cognos Configuration 2

Cognos Connection 4

Cognos Insight 2

インストールする 7

実行 7

## D

DistributedPlanningOutputDir 6

## G

GO\_New\_Stores

開始する 4

## M

Microsoft Visual C++ 2

Microsoft .NET 2

## P

Performance Modeler 2

インストールする 8

## S

SData

開始する 4

## T

TEMP システム変数 2

TM1 Applications

実行 6

TM1 Applications Web

実行 9

TM1 Architect

実行 5

TM1 iWidgets 11

TM1 Mobile Contributor 11

TM1 Operation Console 11

TM1 Package Connector 11

TM1 Perspectives

実行 5

TM1 Scorecarding 11

TM1 Web	
実行	6
TM1 管理サーバー	
開始する	4
TM1 サーバー	
開始する	4
TM1 統合	
Cognos Analysis for Microsoft Excel	11
Cognos BI セキュリティー	11
Cognos BI レポート作成	11

TM1 統合 (続き)	
Cognos Workspace	11

## W

websheets	9
Windows 7	2
Windows Server 2008	2
Windows Vista	2